

現状・課題等

- レイカディア大学は、新しい知識と教養を身につけるための学習機会を提供することで、高齢者の社会参加を推進するとともに、地域づくりにおける担い手を養成することを目的に昭和53年から開催されており、現在は県立長寿社会福祉センターの指定管理事業の一つ「滋賀県レイカディア大学開催事業」として、滋賀県社会福祉協議会が運営しています。
- 草津校・米原校として運営していましたが、令和4年10月から米原校がアルプラザ彦根内のCOZY TOWN(コージータウン)内に移転し、彦根キャンパスに名称変更しました。あわせて草津校は草津キャンパスに名称変更しました。
- カリキュラムにおいては、卒業生が地域の担い手として活躍できるよう、実践的な地域活動につながるための講座や、在学中に学生が居住地域で地域活動に取り組む体験学習等を実施しています。
- 卒業生は、本大学での学びを生かして、環境美化・環境保全活動、社会福祉施設における入所者との交流活動、観光ボランティア、地域の防犯パトロールなど、さまざまな地域活動に取り組んでいます。
- 令和4年度に実施した調査では、卒業生のうち卒業後3年以内に地域活動を行っている人の割合は88.1%となっています。
- 関係機関と連携し、地域の担い手として活躍できる場をより広げていく必要があります。

【応募者数の推移（2校合計）】

| | 定員 | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 | R4 |
|-------|-----|-------|-------|-------|----|--------|--------|
| | | 40期 | 41期 | 42期 | | 43期 | 44期 |
| 計 | 215 | 204 | 185 | 180 | | 226 | 266 |
| 定員充足率 | | 94.9% | 86.0% | 83.7% | | 105.1% | 123.7% |

【卒業生（40期から42期卒業生）の活動状況】

| | 草津校 | 米原校 | 合計 |
|-----------------|--------|--------|--------|
| 対象者 | 325 | 127 | 452 |
| 活動報告者 | 228 | 111 | 339 |
| 未活動報告者 | 37 | 9 | 46 |
| 活動者割合（報告べ-ス） | 86.0% | 92.5% | 88.1% |
| 年間活動時間（時間） | 24,878 | 16,752 | 41,630 |
| 1人当たり年間活動時間（時間） | 109 | 151 | 123 |

【卒業生の活動内容（2校合計）】

| | 全体 | |
|--------|--------|-------|
| | 時間 | 割合 |
| 福祉 | 7,887 | 19.0% |
| 環境保全 | 10,419 | 25.0% |
| サポートの会 | 4,345 | 10.4% |
| 自治会活動 | 4,330 | 10.4% |
| その他 | 14,649 | 35.2% |
| 合計 | 41,630 | |

施策の方向と取組

- 高齢者の社会参加に対する意欲の高まりに応え、レイカディア大学では、県民がいくつになっても自らの持てる力を磨き、卒業後も社会に参加し地域づくりの担い手として活躍できるよう、地域での実践につながる講座や体験活動に重点を置いたカリキュラムにより養成を図るほか、地域からの活動依頼と卒業生のマッチングを支援します。
- 彦根キャンパスに移転してからの令和4年10月入学の学生募集では、70名定員に対して84名の応募があり、草津キャンパスとともに、定員数を応募者数が上回っています。今後も応募状況等について、移転前との変化も確認しながら分析し、運営していきます。
- 卒業生のうち卒業後3年以内に地域活動を行っている人の割合は、コロナ禍ではありますが増加傾向となっています。今後も卒業生の動向を確認しつつ、卒業生が地域で活躍できるよう支援を行います。